

企画・管理スタッフのための

# 管理会計基礎講座

～マネジメントと意思決定に必要なスキルを平易に解説～

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2018年 6月21日(木)・22日(金)  
両日とも10:00～17:00(2日間の講座です)  
会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《ご参加頂きたい方》

- ・経営企画部門、経理部門、事業部企画部門などにおいて、経営計画(年度計画、予算 etc)立案を担当される方
- ・管理会計について、基礎から体系的に習得されたい方

※ご参加者は電卓をご持参下さい。(演習問題の際に使用します。)

講師 青山公認会計士事務所 公認会計士 青山恒夫 氏

講師紹介  
横浜国立大学経営学部を卒業後、中央監査法人に入所。その後独立し、青山公認会計士事務所を設立。会計システムの構築や見直し、会計とITを組み合わせることで経営者の意思決定に役立つ仕組みづくりを行うことを得意な業務分野とする。



《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	54,000円 (本体価格 50,000円)	一般	59,400円 (本体価格 55,000円)
-----	------------------------	----	------------------------

181011-0101 管理会計基礎講座			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認くださいませ。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamitaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

## ・プログラム・

1. 管理会計の考え方
  - ・財務会計と管理会計の違い・・・財務会計の数値は管理会計ではそのまま使えない
  - ・管理会計の基本的な考え方・・・財務会計は集約、管理会計は分解(ドリルダウン)
  - ・管理会計の取り扱う内容・・・管理会計は意思決定と業績評価が2大テーマ
  - ・業績評価の考え方・・・コントロールできない業績を評価してもあまり意味はない
2. 原価について
  - ・原価の分類・・・固定費と変動費、キャッシュを伴う原価と伴わない原価
  - ・固定費の内容と管理方法
  - ・製品売価設定を行うための原価構成の把握・・・原価のどの部分まで回収できればよしと考えるか
  - ・間接費の内容と管理方法
3. 損益分岐点分析
  - ・固定費と変動費の分解による売上と利益のモデル化
  - ・固定費型ビジネスと変動費型ビジネス・・・どちらに属するかで儲け方が大きく違う
  - ・損益分岐点分析の理解と応用
4. 直接原価計算を利用した事業部評価
  - ・事業部の管理会計上の位置づけ・・・コストセンター、プロフィットセンターなど
  - ・直接原価計算の考え方
  - ・内部振替価格設定の考え方
  - ・本社費と共通費の配賦の考え方
  - ・社内金利や社内資本金制度の考え方
  - ・貢献利益とは
  - ・管理者の責任利益と部門損益との違い
5. 企業をセグメント別分析する
  - ・セグメント分析の意味・・・部分の赤字は相殺されて見えていない事実
  - ・組織、製品、得意先等の様々な視点からの損益の把握
  - ・会社の利益に最も貢献している得意先の把握・・・販売費まで紐づけなければ得意先の貢献利益は見えない
6. 経営分析の実践
  - ・財務諸表の構成と基本的な読み方
  - ・自社の経営分析と他社の経営分析・・・両者で目的とアプローチはまったく異なる
  - ・経営分析を行う際のポイント
  - ・経営分析手法・・・収益性分析、安全性分析など
7. キャッシュフローについて
  - ・キャッシュフローとキャッシュフロー計算書
  - ・キャッシュフロー経営とは
  - ・キャッシュは多い方がいいのか
  - ・キャッシュフロー計算書の管理会計上の限界・・・設備投資は投資活動のキャッシュフローに計上されない
  - ・DCF(ディスカウント・キャッシュフロー)について
8. 企業価値指標について
  - ・売上高利益率から自己資本利益率へという流れ
  - ・資本コストとCAPMの基礎
  - ・ROE・ROA・EVA・DCFによる企業価値の算定
9. 設備投資の意思決定
  - ・設備投資の意思決定とは
  - ・現在価値に割り引くという意味
  - ・割引率の考え方
  - ・設備投資の意思決定の手法・・・NPV、IRRなど
  - ・NPV法の具体的事例
  - ・設備投資の意思決定の留意点

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで  
2種類のセミナーをご案内しております。